

拠出金名: 欧州安全保障協力機構 (OSCE) 軍備管理・軍縮会合拠出金

国際機関等名	欧州安全保障協力機構 (英文名称・略称) Organization for security and cooperation in Europe(OSCE)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省欧州局政策課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成21年度	1,470	10		1ユーロ = 143円	0
平成20年度	447,111	2,726		1ユーロ = 164円	0
平成19年度	1,000	7		1ユーロ = 147円	0
当該拠出金の目的・用途等	アフガニスタン国境支援, キルギス選挙改革支援等				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政 (2009年度決算)(ユーロ)	
	国名	金額 (千ドル)	拠出率 (%)	当該年度の収入	28,755,621
1位	EU	5,079	17.6	当該年度の支出	28,755,621
2位	米国	4,391	15.2	次年度への繰越	0
3位	フィンランド	2,706	9.4	会計検査機関名	
4位	カナダ	2,522	8.7	OSCE外部会計監査官 (ウクライナ会計検査院)	
5位	ノルウェー	2,168	7.5	(現在の構成員の出身国: ウクライナ)	
OSCE内における我が国拠出金の順位及び拠出率は原則未公表。					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
OSCEは、56カ国が加盟する世界最大の安全保障機構であり、その常設理事会は週1回開催されることからロシアを含む欧州の安全保障情勢全般を継続的にフォローできる意義は大きい。また、我が国は任意拠出により、パートナー国でありながら加盟国と同等の範囲の会合に参加可能であり、OSCEの場で欧州安保情勢に関して情報収集し、かつ、東アジアの安全保障情勢及び我が国の安全保障政策を発信できる効果は大きい。また、近年はOSCEをツールとして中央アジア・コーカサス地域に支援を行っており、同地域へのプレゼンスを強化するとともにOSCE内での発言力を強化している。					
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		約3500人 0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
OSCEの要職は加盟国に限定され、パートナー国からは受け入れられていない。他方、我が国を含むパートナー国との連携強化の観点から、財政的支援があればパートナー国からの事務職員(専門員)受け入れを可能とするプロジェクトが現在検討されている。					